

令和 7 年 3 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和 7 年 3 月 25 日（火）午前 10 時 00 分
2. 開催場所 檜葉町役場 大会議室
3. 出席委員 早川教育長、宇佐神正道委員、菅野伯恵委員、酒主秀寛委員、古市貴之委員
4. 出席職員 烏中小学校長、松本中学校長、坂本生涯まなび課長、高木こども園長、渡邊こども課長、遠藤課長補佐、林指導主事、手島係長、長谷川主事

教育長

本日は審議事項及び幼小中の来年度の経営方針や運営ビジョンの説明がありますので、冒頭の挨拶は割愛させていただきます。

それでは本日の会議を開きます。只今の出席数は 5 名であります。定足数に達しておりますので、令和 7 年 3 月檜葉町教育委員会定例会を開会いたします。議事日程はお手元に配布してあるとおりでございます。「日程第 1 会議録署名人の指名について」ですが、宇佐神職務代理者と古市委員を指名したいと思いますがご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長

会議録調整人にはこども課の長谷川美咲さんを指定いたします。次に「日程第 2 会期の決定について」ですが、会期は本日 1 日限りということでご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長

それでは会期は本日 1 日限りといたします。次に「日程第 3 会議録の承認について」ですが、こども課長に説明をお願いいたします。

こども課長

令和 7 年 2 月檜葉町教育委員会定例会会議録及び 3 月檜葉町教育委員会臨時会会議録を配布しました。お気づきの点がございましたらお願いしたいと思います。

教育長

こども課長より会議録の内容について説明がありましたが、ご質問等ございますか。

（「なし」の声あり）

教育長

ないようですので、令和 7 年 2 月檜葉町教育委員会定例会会議録及び 3 月檜葉町教育委員会臨時会会議録は原案のとおり承認とさせていただきます。続きまして、「日程第 4 報告事項」に入ります。「教育長一般経過報告について」から報告させていただきます。

< 教育長一般経過報告について説明 >

以上の報告内容について皆様からご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので「教育長一般経過報告について」は以上といたします。次にこども課から報告をお願いいたします。続けて、令和 7 年度の経営・運営ビジョンについての説明もお願いいたします。

こども課長

< 小学校 4 月の行事について、中学校 4 月の行事について、令和 6 年度檜葉中学校卒業生の進路状況について、2025 年度なでしこリーグ 2 部前期試合日程について説明 >

教育長

< 令和 7 年度 檜葉町教育委員会 教育方針について説明 >

烏中小学校長

< 令和 7 年度 檜葉小学校経営・運営ビジョンについて説明 >

松本中学校長

< 令和 7 年度 福島県双葉郡檜葉町立檜葉中学校 学校経営・運営ビジョンについて説明 >

教育長

こども課、教育委員会そして小中学校の経営方針について説明がありましたが、皆様からご質問等ございますか。

宇佐神委員

小学校、中学校共に、素晴らしい経営・運営ビジョンだと思います。小学校の場合、個性の強い生徒が集まった場合、指導する際には、複数人であたるといった具体的な方針を聞かせていただきました。実際、複数人に対応できる程の指導者が揃っているのでしょうか。

中学校ですと、「挑戦して学ぶ。失敗は当たり前」という指導者の姿勢が良いと思いまし

た。大変難しいところではありますが、個に応じた課題を設定することが大切だと思います。そろそろ過渡期が近づいていると思っていた商品開発についての方針・変更は、現実をとらえた素晴らしい運営かと思います。商品開発はとても良い活動だと思いますが、そろそろ別の視点でできないかと思っていたので、推進していただければと思います。

烏中小学校長

現在、国が行っている震災復興加配教員について、双葉郡には教員の数を増やしてもらっているところではありますが、年々少なくなってきています。今年度も、教員数が0.5%減っています。しかし、町で手厚くしていただき、次年度は小学校に学習支援員を5名配置していただけることとなりました。教員の手が回らない部分について補えると思います。

松本中学校長

Nalys のやり方が大幅に変わりますので、先生方は不安に思っています。しかし、先生方も、実際にやってみて失敗してそこから学ぼうという雰囲気が学校で調整できれば、より良い活動になると思います。Nalys の方針転換については、今までのことを活かしつつも、さらに福祉的な分野などに着目し、地域の人達と一緒に活動できればと思っています。町の協力をいただきながらやっておりますので、今後もこども課と連携を取りながら進めていきます。

教育長

個に応じた部分ということで、複数の先生方で展開する授業について紹介をお願いいたします。

松本中学校長

< 令和7年度 福島県双葉郡楡葉町立楡葉中学校 学校経営・運営ビジョンに基づき説明 >

教育長

ありがとうございます。その他ございますでしょうか。

古市委員

「個に応じた」という点は素晴らしいと思います。楡葉町の日本一の教育はまさしく「個に応じた対応」だと思っております。我々が作った枠に子どもたちを当てはめるのではなく、家族の背景や個人の特性等を考慮し、町として生徒ひとりひとりと向き合っていく姿勢を示していくこと、枠をその都度作り替えることができれば、日本一の教育に繋がると思います。先生方は大変かと思いますが、是非実施していければと思います。

教育長

ありがとうございます。子どもたちの対応については、基本的には各学校の校長先生を

中心に実施していますが、人的に足りない等の場合は、こども課職員が対応することもありました。全体で子どもたちを見守っていければと思います。今後ともご理解、ご指摘等お願いいたします。その他、いかがですか。

こども課長

今年、ふたば支援学校が開校しました。現在、ふたば支援学校と町がどのように関係性を築いていったら良いか検討しております。林指導主事に検討内容等をご紹介いただければと思います。

林指導主事

ふたば支援学校が檜葉町に開校したということは、檜葉町にとって素晴らしいことだと思います。特別支援教育は、特別な支援が必要な子どもの教育と考えがちですが、私は特別支援教育は教育の原点だと考えています。通常の教室にも、様々な個性を持った子がおります。個を活かしながら教育を進めていくということは、学校教育に求められていることでもあります。子どもの特性を活かすような教育の仕方をしていくことによって、どの子どもにとっても力を伸ばしていくことができるものと思います。ふたば支援学校は、地域の指導を司る学校として、小中学校、こども園も様々な相談をし、対応可能な学校です。

檜葉町は、地域で共に学び、地域で生きる、そういった特別支援教育の一大モデルを作る機会がある地域として、次年度は取り組んでいけるのではないかと考えています。特別支援学校とこども園、小中学校が1年間連携してどのような取組ができるか現在計画をたてているところです。計画に従って、さらに充実した学びの教育となること、そしてそれが子どもたちに寄り添った切れ目のない教育が日本一の教育に繋がっていくのではないかと思います。

教育長

ありがとうございます。関連事項も含めて、皆様から何かございますか。

酒主委員

小学校の説明にありました、5名の学習支援員の配置については初耳でした。町が目指すところを考えると是非全面的に推していった良い部分かと思います。

また、地域学校協働センターについて、新しい情報がありましたら教えていただければと思います。

小学校と中学校に確認したかった点は、東日本大震災以降に、様々な団体から復興事業として学校に授業の提案等があると思います。現在の状況はどのようになっていますでしょうか。提案をお断りしていることもあるのでしょうか。

こども課長

小学校の支援員については、学校や校長先生と密に連携を取っております。特別に支援を要するお子さんの学級ではなく、普通科学級においても支援を必要とするお子さんもい

ます。配置する 5 名の中には、教員免許を持っている人や全く経験のない人もいますが、我々の考えとしましては、配置数ではなく、必要に応じて、町が柔軟に対応できるような体制をとることが大切だと思っております。次年度、中学校にも 1 名支援員を配置する予定です。

地域学校協働センターについては、令和 4 年に開校し 3 年が経過しました。次年度は、これまで推進してきている地域との連携を含め、毎週水曜日に学習に対する福島大学の学生からの支援を設けようと思っています。

また、両校長先生から体力方面のお話もありました。木曜日は檜葉スポーツ協会とタイアップし、様々な運動を取り入れます。金曜日につきましては、自由学習、月曜日と火曜日は、地域の方とのカリキュラムを行っていきたいと思います。土曜日には、ネイチャーサタデーを実施しており、田植えやさつまいも植えなどをする予定です。町の自然に触れ合う内容も入れながら、1 年間の計画を作成しているところです。

鳥中小学校長

小学校では、現在飛び入りで提案されるものはありません。ただ、先日ならはスカイアリーナで開催された全日本の車椅子バスケットボールのイベントのような情報が入ったときには、学校側で判断して積極的に参加することはあります。現在は、提供されて困っている部分はありません。

松本中学校長

中学校も以前に比べると、復興事業に関する企業からの提案は無くなってきました。もし、提案が来た場合は、学校の教育課程の中で収まるか判断してから返答するようにしています。現在ですと、檜葉中学校は空き教室が多くありますので、放課後の空き教室の活用を検討しています。地域の方々に学校に来ていただき学習活動を行ったり、福島大学と連携しながら大学生に生徒の学習を見てもらう等、学校主体としてやっていければと思います。

教育長

こども園では外部からの支援や活動負担感等どのような状況ですか。

こども園長

子どもたちの遊びが発展するような提案は受けるようにしています。しかし、急にくる場合や単発的なものはお断りしている部分もあります。

教育長

ありがとうございます。その他いかがですか。

菅野委員

各学校が策定する目標に向かって、育んでいることは良いことだと思います。

一点、地域学校協働センターは現在、小学校のランチルームで実施しているかと思えます。しかし、ランチルームはランチルームとして活用しないといけないと思いました。地域学校協働センターの実施場所については今後、検討した方が良いでしょう。

こども課長

令和8年度に小学校のランチルームを復活させる計画です。今年度は、調理室の設計及び建築の打合せを行いまして、必要な備品等を設計しております。令和7年度に、自校給食を再開するために調理室の調理機材一式を更新する予算を確保しましたので、同年度に改修工事も進めていきます。冬休み前に完成させ、春休み中に試験運行し、令和8年4月から小学校の自校給食及びランチルームの再開を目指しております。

古市委員

現在、小学校のランチルームを使用している地域学校協働センターの活動はどのようなのでしょうか。

こども課長

工事するランチルームは仕切りを設けながら工事を進めていきます。

教育長

他に何かございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、ここで小中学校の校長先生にはご退室いただきます。ありがとうございました。

— 鳥中小学校長、松本中学校長 退室 —

教育長

続きまして、生涯まなび課から報告をお願いいたします。

生涯まなび課長

< 令和6年度第4回檜葉学@ならはについて、令和7年度東大教室@檜葉について、令和7年度「檜葉市民大学」・「檜葉学@ならは」について、令和6年度第4回檜葉町図書室事業 落語と読み聞かせ -わたしの3.11- について報告 >

教育長

生涯まなび課から報告がありましたが、ご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、次にあおぞらこども園から報告をお願いいたします。

こども園長

< 令和7年度園児数(予定)、行事報告、行事予定、子育て支援センター事業報告、園児の様子、令和7年度 あおぞらこども園 経営・運営ビジョンについて報告 >

教育長

あおぞらこども園から報告がありましたが、ご質問等ございますか。

菅野委員

児童たちはタブレットを使用していると思いますが、タブレットに特化せず、絵本や図鑑等に触れることも大事だと思いますので、本も活用していただければと思いました。

教育長

ありがとうございます。ここで5分間の休憩を入れます。

— 休憩 —

教育長

続きまして、「日程第5 審議事項」に入ります。議案第15号 檜葉町教育振興基本計画策定支援業務委託に係るプロポーザル選定委員会設置要綱の制定について、説明をお願いいたします。

こども課長・遠藤課長補佐

< 議案第15号 檜葉町教育振興基本計画策定支援業務委託に係るプロポーザル選定委員会設置要綱の制定について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等はございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第15号 檜葉町教育振興基本計画策定支援業務委託に係るプロ

ボーザル選定委員会設置要綱の制定については原案の通りといたします。続いては、議案第16号 檜葉町こども家庭センター設置運営要綱の制定について、説明をお願いいたします。

こども課長・遠藤課長補佐

< 議案第16号 檜葉町こども家庭センター設置運営要綱の制定について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等はございますか。

古市委員

こども家庭センターについてですが、現在こども課で行っている事務的な部分に、相談機能やケースワーカー機能を付けるという認識で良いですか。個別の対応も、こども家庭センターで担っていただけるのでしょうか。

こども課長

既にこども課の中には、母子保健や児童福祉のどちらの機能も有しております。現在の窓口業務から変更はありません。資料内にあります組織イメージ図を見ていただくと、私がセンター長で、統括支援員が新しく着任する係長が就くこととなります。虐待等個別に対応が必要な場合は、関係機関にも参集していただきながら、柔軟に対応できる体制を整えていきたいと思っております。古市委員のような専門の方にご意見を頂戴する場合もあるかもしれません。

古市委員

合同ケース会議がこども課主催となると、会議が進みやすいと思います。

こども課長

形式的ではなく、簡潔に対応できる窓口を目指していかなければいけないと思っております。こども課内の職員の配置を考えたり、関係機関へ情報を共有し、対応を求めることも必要と思っております。

教育長

他にはいかがですか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第16号 檜葉町こども家庭センター設置運営要綱の制定については原案の通りといたします。続いては、議案第17号 檜葉町子育て世代包括支援センタ

一事業実施要綱を廃止する訓令について説明をお願いいたします。

こども課長

< 議案第 17 号 檜葉町子育て世代包括支援センター事業実施要綱を廃止する訓令について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等がございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第 17 号 檜葉町子育て世代包括支援センター事業実施要綱を廃止する訓令については原案の通りといたします。続いて、議案第 18 号 檜葉町放課後児童クラブ運営要綱の一部を改正する訓令について説明をお願いいたします。

こども課長・遠藤課長補佐

< 議案第 18 号 檜葉町放課後児童クラブ運営要綱の一部を改正する訓令について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等がございますか。

古市委員

地域学校協働センターのならはっ子クラブと放課後児童クラブは、基本的には違うものですか。

こども課長

おっしゃる通りです。

教育長

他に質疑等がございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第 18 号 檜葉町放課後児童クラブ運営要綱の一部を改正する訓令については原案の通りといたします。続いて、議案第 19 号 檜葉町こども計画策定について説明をお願いいたします。

こども課長・遠藤課長補佐

< 議案第 19 号 檜葉町こども計画策定について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等はございますか。

古市委員

この時期に様々な計画の策定がされますが、5 年がスパンだと思います。しかし、5 年経って振り返りとなると中々難しいと思いますので、1 年に 1 回でも評価等を実施していただければと思います。

こども課長

ご指摘の通りだと思います。計画を策定するだけではなく、実行に移し、それを評価いただくことが大切だと思います。令和 7 年度中に、評価をいただく委員会を立ち上げます。進捗報告や評価、支援策等をいただくような委員会となります。費用等も確保済みです。委員の皆様からもご意見を頂戴すると思いますのでよろしくお願いいたします。

教育長

他に質疑等はございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第 19 号 檜葉町こども計画策定については原案の通りといたします。続いて、議案第 20 号 令和 7 年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について説明をお願いいたします。

こども課長・手島係長

< 議案第 20 号 令和 7 年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等はございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第 20 号 令和 7 年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱については原案の通りといたします。続いて、議案第 21 号 令和 7 年度家庭教育活動支援

員の委嘱について説明をお願いいたします。

こども課長・手島係長

< 議案第 21 号 令和 7 年度家庭教育活動支援員の委嘱について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等はございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第 21 号 令和 7 年度家庭教育活動支援員の委嘱については原案の通りといたします。続いて、議案第 22 号 令和 7 年度地域学校協働活動推進員の委嘱について説明をお願いいたします。

こども課長・手島係長

< 議案第 22 号 令和 7 年度地域学校協働活動推進員の委嘱について説明 >

教育長

説明がありましたが質疑等はございますか。

(「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、議案第 22 号 令和 7 年度地域学校協働活動推進員の委嘱については原案の通りといたします。続いて、「日程第 6 その他」に入ります。事務局から報告等ありますか。

林指導主事

< 英語教育について説明 >

教育長

ありがとうございます。他にございますか。

遠藤課長補佐

令和 7 年 4 月 1 日施行の妊婦のための支援給付金の要綱改正を行う予定でしたが、昨日の午後に県より要綱が届いたため、今回の定例教育委員会に間に合いませんでしたので、次回の 4 月に審議をお願いしたいと思います。

教育長

他にございますか。

こども課長

次回の定例会議ですが、4月24日（木）10時から役場3階大会議室で行います。

また、最後に退職者及び異動者より挨拶を行います。

< 退職者及び異動者より挨拶 >

教育長

ありがとうございました。

最後に、双葉郡教育長会として福島大学及び相双教育事務所への要望活動、また双葉郡教育復興ビジョン推進計画書の第四期が完成しました。本日説明の時間がとれなかったため、皆様に資料を配布します。ご確認いただければと思います。

それでは以上をもちまして令和7年3月檜葉町教育委員会定例会議を閉会いたします。
ありがとうございました。

午後12時06分閉会

令和7年3月25日

議事録署名人

宇佐神 正道

議事録署名人

古市 貴え

会議録調整人

長谷川 美咲